



寄居ロータリークラブ YORII ROTARY CLUB 会報



R.I.会長
ステファニーA.アーチック
第2570地区ガバナー
五十幡 和彦
第4グループガバナー補佐
柴崎 猛



令和6年7月17日(水)
会場 Spark (寄居町商工会)

第2735回例会

司会 赤坂 匠康 (SAA)
点鐘 松本 幸男会長 (12:30)
ソング 奉仕の理想

1. 会長の時間

皆さん、こんにちは。本日はガバナー補佐、柴崎猛さんをお迎えして、また卓話をいただけるということです。



後程、どうぞよろしくお願ひします。そして本日は書類を点検していただき、寄居クラブは、お褒めの言葉をいただきました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

先日、地域の20代～50代の女性と一緒する機会がありました。男性は私1人でした。それちやほやされました。というのは6月30日が私の誕生日で誕生会として祝ってくれたからです。ただそんな時間も一瞬、15分ぐらいで若い20代の男性が会に合流したら、あっという間に持っていました。あとは寂しくお酒を飲んでいました。そんな話はどうでもよい事です。そこで、これはいい機会だと思い、20代～50代女性と20代の若い男性に「ロータリーって何をしている団体かわかりますか。」と質問をしてみました。皆さんなんと答えたと思いますか。「お金持ちの集まり」だとか、「お酒を飲んで楽しんでいるのでしょうか？」というイメージであつたらと心配でしたが、そういうことではありませんでした。皆様からの答えは「全く何をしているかわからない。」でした。「名前は聞いたことがあるけど、どういう団体なのか、また何をしているのか分らない。」そういう回答に対し、我々ロータリーの活動に関しては、ほとんどの方が知らない、そんな謎の団体であるということを自覚するこだからなのではと強く感じました。

入会してしまえばその感覚もだんだん薄れていき、私も入会する前はロータリーがどういうことをしているのか確かにわかりませんでした。感覚が薄れていく、この負のスパイラルが地域に浸透しないロータリーの最大の弱点だと私は思います。今私が話している事に対しても既に何言っているか分らないようでしたら、もう謎の団体の

1人として地域にロータリーを浸透させる事は難しいでしょう。

何が楽しいのかわからない。その様な状況で参加している会員も少なくはないと思います。ただお付き合いのために入会し、意見も言えず、そして休みがちになる。先ほど補佐ともお話ししたのですが寄居は出席率が高いということで、他のクラブは50%、60%というところ、寄居クラブは80%～90%で推移しています。出席率から見れば悪い雰囲気ではないと思いますが、1人1人の本心はわかりません。そこで皆さん、国際ロータリーや、地区からも言われているのですが、今年度中に満足度アンケートを行いたいと思います。内容としては、もっと他クラブと交流した方がいいのではないかとか、こういう事をやつたらいいのではないかとか、ロータリーをこうしていったら良くなるのでは?など、また悪いところばかりではなく、良いところも含めていろいろアンケートを取り、状況を把握したいと思っています。皆さんご協力をよろしくお願いします。

世の中は変化の一途をたどっています。ロータリーの基本のルールはもちろんのこと厳守した上で、修正が必要であれば細則を都度変えていくなど、そういった細かい作業も今後寄居クラブを永久的なクラブとするには、考えていかなければならぬことでしょう。

そこで国際ロータリーは最近、頻繁にDEIを推奨し、クラブでDEIを題材にお話して下さいと盛んに言っております。そのDEIは、Dはダイバーシティ (Diversity) 多様性。Eはエクイティ (Equity) 公平性。Iはインクルージョン (Inclusion) 包摂的の略です。

四つのテスト、真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうかですね。この四つのテストを大切にしている会員は、「みんなに公平」であることを心がけています。インクルージョンの文化を

培うことは、公平さを実践することでもあります。寄居クラブは実践できているでしょうか。私の意見としては、非常に良くできていると思っています。本当に公平で、いろいろな相談をしても話を聞いていただき、丁寧に答えていただける。入会して間もない会員からもお話をいただけるというコミュニケーションは取れていると思います。多様性はL G B T Qや一人一人が違う考え方を持っていていることを認識したうえで、すべての会員は、尊重をもって扱われ、友情と奉仕の平等な機会、そして、発言する平等な機会を持つ権利があります。D E Iについては、当たり前、当然のことじゃないかと思いますが、本当に自分たちで実践できるかというのは、やはり相手あってのことなので、これからは私も含め皆さんで更に意識していかなければならぬと思っています。

今年度の五十畳ガバナーのテーマでもあります「入って良かったロータリー」と思って頂けるよう当寄居クラブでは今年度のテーマを「入りたくなるロータリー」としました。現実のものとするためにも、私は会長として一年間、一人も孤独や寂しさを感じさせない楽しいクラブにしていきたい。その強い決意をもって邁進していきますので、今後ともご支援ご協力をお願いし、本日の会長の時間とさせていただきます。よろしくお願いします。

2. 幹事報告

下条 誠さん

皆さん、改めましてこんにちは。幹事報告します。先ほど会長の方からお話がありましたとおり、本日は柴崎ガバナー補佐に寄居クラブの書類等チェックしていただきまして、大変勉強になりました。ありがとうございました。来週の水曜日7月24日はガバナー公式訪問となり、前回も説明しましたが、改めて来週のタイムスケジュール等を報告

します。

来週の7月24日、タイムスケジュール的には午前11時15分から12時まで会長・幹事、入会3年未満の会員と五十幡ガバナーの懇談会となります。そして12時から食事となり、12時30分に例会が始まり13時からガバナーの卓話、そして13時30分に例会が終了。その後に五十幡ガバナーとの記念撮影をし、13時40分頃からクラブ協議会が約1時間というスケジュールとなります。入会3年未満の方については、11時15分から1階の会議室の方で懇談会がありますので、お早めにおいでいただくようお願いします。

例会は通常の通りに進行し、ガバナーの卓話をいただいた後に、例会が終了したら、クラブ協議会に移ります。クラブ協議会は、寄居クラブは3グループに分けてディスカッションをする形となります。席次等は、指定席になる予定で現在作成しております。Aグループ、Bグループ、Cグループと分け、各グループでファシリテーター、今までのディスカッションリーダーD Lの方と、書記兼発表者

の方を事前に決め、ファシリテーターの方の進行のもと、書記の方が記録をし、最後にグループを代表して発表します。そして最後にガバナーの方から総括をいただくという流れになっています。

各グループのファシリテーターと書記兼発表者をここで発表させていただきます。Aグループ、ファシリテーターに小宮俊光さん。そして書記兼発表者は吉田昌弘さん。Bグループ、ファシリテーターに清水浩一さん。書記兼発表者は豊田康業さん。Cグループ、ファシリテーターに赤坂匠康さん、そして書記兼発表者に森田淳一さんにお願いします。どうぞよろしくお願いします。

ディスカッションが終わりまして各グループの代表に発表していただき、先ほど申し上げたとおりガバナーの総括をいただいて終了という形になりますので、よろしくお願ひします。S A Aの方にお願いですが、ガバナーの卓話でパワーポイントを使用するということですので、本日のようにプロジェクター、スクリーン、HDMIケーブルの準備をよろしくお願ひします。またガバナーの駐車場1台確保するようお願ひします。ガバナー公式訪問に対しては以上となります。

続いて、地区の方から様々な案内が来ておりまして、その中で回覧した方が良いと思うものを回覧させていただきます。地区大会記念のゴルフコンペや、大阪万博の関係の案内等があります。ご興味のある方は、事務局の方に連絡をお願いします。幹事報告は以上となります。ありがとうございました。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会

山口 正彦さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
7月17日	37	8	29	0	78.38%
7月3日の修正出席率					97.14%

(2) 社会奉仕 環境保全委員会

権田 功さん

社会奉仕環境保全委員会の権田です。先日もお話ししたように、寄居町親子荒川環境保全キャンプというのを、寄居町青少年相談員の団体と協力して、カワセミ河原を使って10月20日に実施するということで、おおむね基本は決まっています。実は来週、青少年相談員の方たちと合同の話し合いを予定していますので、その前に、ロータリーの側の基本的な方針を決めておき、青少年相談員の方たちと調整していくたいということで、急遽本日ミーティングを開催します。これは青少年奉仕委員会の方たちと協力してやっていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。その他、当日はもちろん多くの方にご参加いただけますよう、お願ひします。また随時詳細が決まり次第報告しますので、よろしくお願ひします。



(3) ニコニコボックス委員会 萩野 真仁さん
松本 幸男さん ガバナー補佐 柴崎 猛様、本日の補佐点検大変お世話になりました。こえからも気を引き締めて頑張っていきたいと思います。多めにいただきました

下条 誠さん 柴崎ガバナー補佐、本日はご指導よろしくお願ひします。

松本 則之さん 柴崎猛ガバナー補佐、本日は宜しくお願ひします。

松本 則之さん 久保凜ちゃん、16歳で女子800M日本新記録！今後が楽しみです！

松本 則之さん 大谷翔平、27、28、29号。そしてオールスター初ホームラン。おめでとうございます。多めにいただきました

吉野 泰久さん 俺の夏は終わりました。悔いなし！親行事のたかださん、お世話になりました。

吉野 泰久さん 今日の補佐訪問を十分に楽しんで、来週の公式訪問は休みます。

佐橋 正行さん 柴崎ガバナー補佐、本日はよろしくお願ひします。忙しい日が続くと思いますが、1年間体調に気をつけてください。

小宮 俊光さん 柴崎サン、ガバナー補佐卓話楽しみにしていました。宜しくお願ひします。尚、仕事の都合で少し早めに退室しますが悪しからず。

小宮 俊光さん 福島さん、坂本さん、入会おめでとうございます。これから一緒にロータリーライフを楽しみましょう。

山口 正彦さん 柴崎ガバナー補佐、本日はお世話になります。日々大変お疲れ様です。

鈴木 光則さん 柴崎ガバナー補佐、お疲れさまです。ご指導お願ひします。

柴崎 正さん 柴崎猛ガバナー補佐、本日はよろしくお願ひします。この一年間、ご健勝でのご活躍をお祈りいたします。

清水 浩一さん ガバナー補佐、柴崎様、ようこそ寄居RCへ。ご指導よろしくお願ひ致します。

加藤 祐司さん 柴崎ガバナー補佐、本日はご指導よろしくお願ひいたします。

安齋治一郎さん 柴崎ガバナー補佐、本日は宜しくお願ひします。

赤坂 匠康さん 柴崎ガバナー補佐様、昨日の深谷ロータローのF B投稿を見て、本日の卓話楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願ひします。

橋本 則彦さん 柴崎ガバナー補佐様、本日はご指導よろしくお願ひします。

森田 淳一さん 柴崎ガバナー補佐、本日は宜しくお願ひ致します。

小畠 哲夫さん 本日もお世話になります。ガバナー補佐訪問、勉強させてもらいます。

高田 徹さん 先日寄居夏まつりが開催されました！5年ぶりの中町神輿を出すことができました！吉野さんとお孫さん、両松本さん、大変お世話になりました。

権田 功さん 本日は色々ありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

高倉 隆綱さん 一昨日、いつも遊びに来る野良猫ちゃんが本堂で子猫を4匹も産んでいました！これから見守っていきたいと思います。

豊田 康業さん 柴崎ガバナー補佐のお話、とても勉強になります。楽しみにしております。今日もよろしくお願ひします！

押田 大助さん 柴崎ガバナー補佐、卓話楽しみにしております。

土師 賢一さん 本日は柴崎ガバナー補佐、のお話を楽しみしております。宜しくお願ひ致します。

清水雄一郎さん 初のガバナー補佐訪問同行。大変勉強になりました。

萩野 真仁さん 新札発行おめでとうございます。隣町ではお祭りさわぎの最中ではありますか、お金は手元に取っておくのではなく、流通させることが一番重要です。皆で使って地域の活性化に役立てましょう。

卓話 第4グループガバナー補佐 柴崎 猛さん

略歴

昭和24年 寄居町に生まれる。
地元小中学校を経て熊谷高校、慶應大学工学部機械工学科を卒業。

昭和46年 卒業後ただちに(有)柴崎製作所に専務取締役として入社。

平成6年 (株)シバサキ製作所代表取締役社長に就任。

平成27年 長男柴崎亮二に事業承継を果たし、代表取締役会長になる。

令和2年 取締役会長として現在に至る。

役職履歴

平成21年より令和3年まで、
第6代寄居町商工会長を務める。
現在、寄居町商工会顧問。
(株)まちづくり寄居代表取締役。
社団法人熊谷法人会常任理事。
熊谷地区雇用対策協議会副会長。

寄居地区警察官友の会会長。
一般社団法人倫理研究所参事法人アドバイザー。



ロータリー歴

2005年に入会。
2016年寄居ロータリークラブ50周年時の会長を務める。

直近の地区役員としては、職業奉仕委員を務める。

著書「百年企業へ繋ぐ二代目社長の在り方」万代宝書房

2024-25年度、ステファニー・アーチック国際ロータリー会長のテーマは「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)です。会長自身もおっしゃっています



が、このマジックとは、唱えていれば魔法のように物事が変わり、手品のように物事が解決することではありません。それをあえて日本語に訳せば、私は「ロータリーの奇跡」と言い換えたいと思います。それでは奇跡はどうしたら起こるのでしょうか?私はロータリーの公式標語として、皆さんよくご存じの「Service Above Self—超我の奉仕」に尽きると思います。

人はそれぞれの立場で、一度しかない人生を楽しく、幸せに暮らしたいと思っています。それは世界中のあまた存在する人種に区別はありません。アーチック会長はそれをドミニカ共和国の浄水器の設置活動で発見しました。汚い水がフィルターを通った途端、きれいな水に変わったのを目のあたりにして、現地の少年の人生が変わった瞬間を体験したのです。

人間は自分は自分、人は人と区別して考えるところに不幸がきざします。真に正しいこととは、自分が救われると同時に他人も救われなければなりません。郷土の偉人、渋沢栄一翁の母親がいつも言っていた「自分だけ嬉しいではだめ、皆も嬉しいのがいいんだ。」という言葉は今こそ思い起こすべき言葉でしょう。

無我とは言わずとも超我の心を徹底し、最もよく奉仕するものが最も多く報いられることを信じて、我々は行動していくうではありませんか?

自他一如、小さな己は後にして、人の喜びはまことの我が喜び、人の悲しみは我が悲しみとして、今後のロー

タリー活動を実践しましょう。このような利他の心をもって活動をしたときに、まさに奇跡が起こるのだと思います。

そして国際ロータリー第2570地区五十幡和彦ガバナーは「入って良かったロータリー」を地区スローガンに、5大地区方針を掲げました。

- ①ポリオ撲滅を中心としたロータリーの奉仕活動のブランド化
- ②各クラブ2名以上の会員純増とDEIの推進
- ③ロータリー財団への理解と寄付目標達成
- ④ロータリーの目的、四つのテスト、行動規範、行動計画に基づくロータリーの理念、行動計画の再確認
- ⑤ロータークトクラブの支援です。

これを受けて今年度はガバナー補佐として、地区の目標の設定を補佐すると共に、地区とクラブの架け橋になるべく「クラブの活性化支援」「会員の学ぶサポート」を行ってまいります。

具体的には

- 1) ラーニングセンターのガバナー補佐向けのコースを積極的に受講する。
- 2) ロータリークラブ・セントラルへの目標入力を推奨し、各クラブの目標を達成できるように支援する。
- 3) 会長幹事会を定期的に開催し、各クラブの情報交換・親睦・地区とクラブの橋渡しに努め、各クラブの取組からロータリー活動を相互に学べるようにする
- 4) 「不易と流行、そしてチャレンジ!」をテーマにIMを開催し、広い視野を持った講師をお呼びし、世界平和へのヒントにしたい。
- 5) グループ内各クラブを定期的に訪問し、クラブの活動、リソース、地区との連携について協議する。

平和を優先する

ここにアルベルト・AINSHUTAIN博士が大正11年11月16日に来日した時の講演録の一部をご紹介します。

「世界は進むだけ進んでその間、幾度も闘争が繰り返され、最後に闘争に疲れる時が来るだろう。その時、世界の人類は必ず真の平和を求めて、世界の盟主を挙げなければならぬ時が来るに違いない。その世界の盟主は武力や金力ではなく、あらゆる国の歴史を超越した最も古く、かつ尊い家柄でなければならぬ。世界の文化はアジアに始まってアジアに還り、それはアジアの高峰日本に戻らなければならぬ。我らは神に感謝する。天が我ら人類に日本という国を創つておいてくれたことを。」

このところ、縄文時代が脚光を浴びている。この時代、一万年近くも続きながら人々が争った形跡が非常に少ないようである。死人の骨を調べてみても、矢じりといった武器によって死んだあとが非常に稀であるという。それだけ長く平和な時代が続いたということであろう。さのごとく日本人は元来が平和を愛する民族だとい

えるし、その知見も持ち合わせているのだと思う。いよいよ日本のロータリークラブが世界の平和のために立ち上がる時である。

ポスト・コロナのロータリー活動について

人生100年時代を迎えて、シニア世代にとって如何に幸せな晩年を過ごせるかどうかは一大問題である。ここにハーバード大学が行った研究成果の記事がある。まずは仕事第一の人生を見直すことだそうである。家族、友人、知人など、肩書き抜きで付き合ってくれる人たちのために時間を「投資」しておくと、人生後半に幸せという「配当」になって戻ってくるのだという。結局のところ、人生後半に幸せになれるかどうかは、どれだけ周りの人々に感謝されたかによって決まるのだという。これらのロータリー活動に参考になると思う。

山本周五郎の書いた小説の中に、「赤ひげ診療譚」という名著があるが、映画や、テレビドラマにもなっているので ご存じの方も多いかと思う。その中で赤ひげ先生が弟子に「人が死ぬ直前に語る言葉には真実がある。」というくだりがある。これから流す動画は、56歳で亡くなったアップルの創業者であるスティーブ・ジョブズの述懐です。ご覧ください。



点鐘 会長 松本 幸男さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2024.7.17

会長 松本 幸男 会報・雑誌委員長 加藤 祐司

N o. 2

幹事 下条 誠 副委員長 柴崎 猛

- 例会日時 毎週（水）12:30～13:30
- 例会場 Spark(寄居町商工会)
- 住所 寄居町寄居1228
- TEL 048(581)2468
- FAX 048(581)3530